

## 2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんほっとおかやま	
団体名	一般社団法人ほっと岡山	
代表者名	服部 育代	
連絡先	住所	岡山県岡山市北区東古松 1-14-24 コーポ錦 1 階
	TEL	070-5670-5676
	E-mail	office.hotokayama@gmail.com
	URL	https://hot-okayama.net/
設立年（西暦）	2016年	
助成活動名	広域避難者の社会的孤立解消・防止を目指す社会関係資本再構築事業	
助成額	500,000 円	
活動内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災による広域避難者の社会的孤立を解消する</li> <li>・避難先地域・避難元地域のフォーマル、インフォーマル等、社会資源につなげる</li> <li>・伴走型支援で、避難者一人ひとりの生活再建をすすめる</li> <li>・避難者のエンパワメントを促す</li> </ul>
	内容	避難者相談事業 ①来所、電話、メールでの相談（火・木・金・第2土／10～16時、想定相談数30件／月） ②つながり拠点開設 ③見守訪問、同行支援（随時） ④ケース検討会議（2回／月） ⑤相談員研修（4回／年）
	成果	①来所、電話、メールでの相談 （火・木・金・第2土／10～16時、想定相談数30件／月） 2023年度相談数 315件  ②つながり拠点開設 ・くるくるお茶会の実施 毎月第1金曜日11時～15時、ほっと岡山にて実施 参加者数（延数） 31名（12回開催） ・ひなん者の会 毎月第2土曜日18時30分～20時30分（活動により月2～3回開催） 参加者数（延数） 112名（28回開催） ・こどもの居場所「ひみつきち」 10回開催 参加者数（延数） 51名  ③見守訪問、同行支援（随時） ・見守訪問：食糧支援も含め、12件実施 同行支援：3件  ④ケース検討会議（2回／月） ⑤相談員研修（4回／年） ・ケース検討会議 随時、会議未済の規模にて司法書士、精神保健福祉士と実施 ・相談員研修 相談員の雇用が見込めなかったため、実施せず

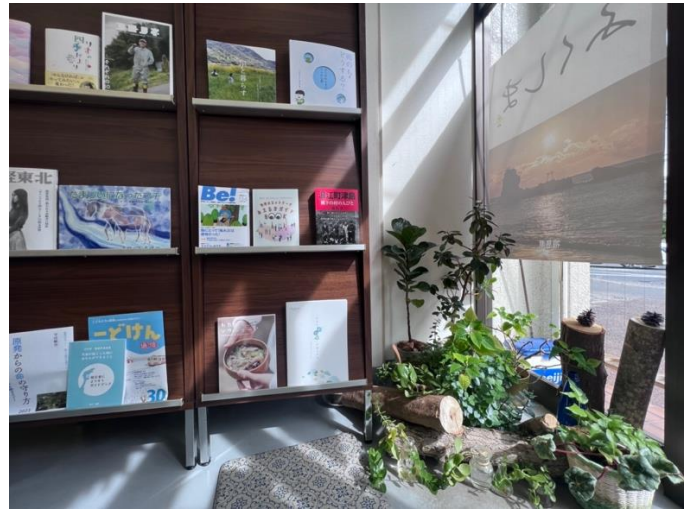
避難者の生活再建支援の拠点として、コロナ以降の困窮度の高さや今後避難元へ帰還を希望する避難者の増加などから、支援の継続性が求められている。その一方で、長期にわたる避難者支援の枠組みが、大変縮小してきているため、伴走型の相談支援の実施が今後も厳しい環境におかれている。

避難者にむけた個別支援にとどまらず、同時に社会や地域に向けて大規模災害時の広域避難の問題や関心が高まるよう、啓発活動をすすめることにより、避難者の孤立化を防ぎ、さらには支援の継続性への理解が高まると考える。

### 今後の課題と対応策

現在、2023年11月から広域避難者支援プロジェクトを開始、中国地方を対象に今後の南海トラフ地震等、大規模災害時の広域避難者支援のあり方を考え、被災者支援ソーシャルワーク研修を実施していく。また、災害文化の醸成をすすめ、広域避難の問題を我ごととして社会が捉えていくよう、避難者の生活再建拠点とともに、広域避難の教訓を伝えていくアーカイブ拠点もスタートした。

プロジェクトを通じて、被災者支援ソーシャルワーク研修のフォローアップを収益事業として展開、また災害時の防災・減災の知恵や教訓等、特に災害弱者の視点にたった啓発活動も広く実施し、収益向上を目指していく。



つながる拠点。避難者の手記や災害関連の書籍の閲覧、貸出しをする。

### 写真の提出



つながる拠点、各種支援情報も閲覧可能。拠点では、食料支援を通じ避難者の方の生活の様子などを見守るツールの一つとしている。食料支援は、NPO 法人ジャパンハーベストの協力により、月に2回配送いただく。



ひなん者の会の活動。津山市ママパパ美作ネット主催の芋掘りと、こどもの居場所「ひみつきち」の活動で子どもたちとスイーツづくりや食事を楽しむ。



ひみつきちのクリスマスパーティ。プレゼントは民間企業からのご寄付。  
311キャンドルナイトの様子。



3月10日避難者交流会の様子。岡山県危機管理課共催。